

令和6年度第3回江東区みどりの基本計画後期改定委員会 議事録

日 時	令和7年1月29日(水) 14:00~16:00
場 所	江東区文化センター 4階 第2・3会議
出席者	<p>〈委員〉</p> <p>島田 正文 (一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問)【委員長】          柳井 重人 (千葉大学 大学院園芸学研究院 教授)【副委員長】          八木澤 あや子 (区民応募)          葭葉 抄子 (区民応募)          美濃又 哲男 (みどりネット Koto 代表)          須永 俣子 (NPO 法人江東区の水辺に親しむ会 理事長)          佐々木 貴智 (NEC ソリューションイノベータ株式会社)          渡部 陽介 (清水建設株式会社 技術研究所)          小林 英忠 (第五砂町小学校 校長)          炭谷 元章 (政策経営部長)          西谷 淳 (温暖化対策課長 (環境清掃部長代理))          立花 信行 (都市整備部長)          石井 康弘 (土木部長)          青柳 幸恵 (教育委員会事務局次長)</p> <p>〈幹事〉</p> <p>大野 俊明 (管理課長)          清田 光晴 (河川公園課長)</p> <p>〈事務局〉</p> <p>管理課：浦、松井、中村          河川公園課：小塊、前澤</p>
次第	<p>議題</p> <p>(1) 江東区みどりの基本計画(後期)案について          (2) その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次第</li> <li>• 委員名簿</li> <li>• 委員座席表</li> <li>• 資料1：素案からの主な変更点</li> <li>• 資料2：江東区みどりの基本計画(後期)案</li> <li>• 参考1：第2回後期改定委員会における意見と対応</li> <li>• 意見等回答様式</li> </ul>

## 開会

### 事務局

令和6年度第3回江東区みどりの基本計画後期改定委員会を開催する。後期改定委員会は今回で最後となる。

はじめに、事務局より連絡事項をお伝えする。本会議の内容については、議事録作成の都合上、また、ホームページ等を通じて会議内容を公開するため、録音、写真撮影をさせていただきます。

## 議題

### 事務局

これ以降の進行は、島田委員長にお願いする。

### 委員長

前回までの意見については、総じて計画書に反映されている。今日プラスアルファの意見が出るかもしれないが、3回目ということでよろしく願います。

まず、議題に入る前に、本日の傍聴者について、事務局より報告をお願いする。

### 事務局

本日は2名が傍聴を申し出ている。

### 委員長

2名が傍聴されているということで、許可する。

傍聴者は、賛否を表明すること、会議の進行を妨害すること、写真撮影、録音をすることは禁止されている。このような行為があった場合は退出していただく。よろしく願いたい。

## 議題（1）江東区みどりの基本計画（後期）案について

### 委員長

次第に沿って進めさせていただきます。

議題1「江東区みどりの基本計画（後期）案について」、事務局より説明をお願いする。

### 事務局

（配布資料確認）

（資料1説明）

（資料2説明）

### 委員長

皆様からのご意見を反映し、また予算を獲得されて、それが追記されたということで、充実された計画書に仕上がっていると思う。

1点確認だが、概要版は作るのか。

### 事務局

概要版は作る予定である。

### 委員長

それも見たかった。概要版を印刷する前に各委員へ送付いただきたい。

プレス発表はいつか。

### 事務局

来週の月曜日になる。

### 委員長

傍聴のお二人も含めて、来週の月曜日までは、我々は守秘義務がある。外部に漏れないようにぜひお願いしたい。

それでは、皆様からご質問、ご意見を頂戴したい。

### 委員

私はみどりの基本計画推進会議部会の会長をしている。部会が進化した形が7章で追加されているグリーンコミュニティ会議になるということによいか。グリーンコミュニティ会議と部会との関連性がどこにも書かれていない。取り組みとして、部会を月1回やっているとというのは書かれているが、7章でグリーンコミュニティ会議という名前が出てきて、それとの連続性がよくわからなかった。それを明記していただきたい。

もう1点、前回、ポータルサイトのお話をさせていただいたが、新規事業の中でDX事業という項目が書かれており、多分これに該当するのではないかと思った。7章の表を見たときに、新規事業として星印がついているものがいくつもあるが、重点施策に書かれていることはそちらで説明があるのだが、それ以外のことに対してあまり説明がされていない。DXについてもどんなことをするのか、少し書き加えていただいたほうがわかりやすいと思った。

### 事務局

1点目の部会については、前期における計画の進行管理の組織として、推進会議はあるが、部会に対しては改めてここではうたっていない。よって、部会イコール、グリーンコミュ

ニティ会議というわけではなく、新たにグリーンコミュニティ会議を立ち上げるということだけを記載している。

#### 委員

これまでの部会とは全然違う立ち位置でグリーンコミュニティ会議が作られるのか。役所の手続き的には、そういう形になるということか。

#### 事務局

部会では今までご協力いただいた。部会はまず解散し、改めてグリーンコミュニティ会議を立ち上げ、新たな運営方法を検討しながら進めていくところである。

#### 委員長

今まで皆さん中心に部会活動をやっていただき、江東区ならではの活動で、ご協力をいただいていたと思う。今度新しい会議体を作るに当たっては、事務的には事務局がおっしゃったとおりかもしれないが、機能的には今までの部会プラスアルファぐらいのイメージではないか。私はそのように解釈していた。

#### 事務局

みどりをいろいろな方に知っていただけるということで、取り組み、目標としているところは今の部会の形であり、グリーンコミュニティ会議も全く別物ということでは考えていない。継承していくところは継承していく。

#### 委員長

今までのご努力をベースに、それに加えて区が考えているコミュニティ会議に期待するような機能もあるかもしれないが、今までの部会の活動は尊重して、それを基礎として動き出すというのでは駄目なのか。

#### 事務局

そのような認識で問題ない。

#### 委員長

委員は、つなぎのところがわかりにくいとおっしゃったが、役目的には今までのようなものとなっている。皆様のご努力を行政が大変評価いただいているということに間違いはないと思う。

## 委員

43ページに部会活動が書かれているので、ここでもいいし、7章でもいいが、どこかで部会がそれにつながっているということが明快に言葉として、この基本計画の中に残ることを希望する。現状の説明はあるのだが、部会と新しくできる会議との関係性がこの資料だけだと明示されていないので、これを5年後に改定するときに不明確になってしまうので、お願いしたい。

## 委員長

もう1点のDXについて、回答をお願いします。

## 事務局

DX事業を含め、各施策の新たな取組が7章の事業一覧に記載がないことの説明を求めると質問だと認識している。そちらについては、現行の計画のときもそうなのだが、主な事業についての詳細な説明は7章ではしていない。前段の5章の各施策にどういった取り組みをするというところを書いている。

DXについては、第5章の98ページに、素案のときに追加しているが、戦略的な情報発信のところで、オープンデータ化であるとか、見える化したオープンデータを地域課題の解消や事業者のみどりに関する取り組み・事業を検討するときの材料として活用していただくなど、それに紐づく事業としてDX推進を記載しているところである。みどりのポータルサイトを作るという具体的な事業ではなく、まずは、オープンデータ化や見える化へ展開していく事業のはしりとして、DX化全般を進めていくというような認識でお願いしたい。

## 委員

基本計画改定案でいろいろな意見をとりまとめていただき感謝する。すごく充実した内容になっているのではないかと思う。グリーンコミュニティ会議とDXのところで2点質問がある。

1つが、グリーンコミュニティ会議は部会との連続性を明記していただいたほうがいいのではないかということは私も同感である。こういう枠組みを作られている自治体が少ないので、部会を引き継ぐとか、そういう一言を7章の多様な主体との協働による取り組みの強化のところに加えていただけると、その辺のつながりが見えてくるのではないか。

質問だが、グリーンコミュニティ会議ができること、この先、位置づけや予算化、事業化ができることで新しいプラスアルファができるようになるというところ、どの辺が新しく進化するところか教えていただきたい。

DXについては、魅力発信は重要だと思っているが、一方で、樹木管理とか、緑地行政自体のDX化という話もあるとイメージしていた。その辺の可能性はいかがか。

## 事務局

グリーンコミュニティ会議について、まず一番大きいのは CIG の周知の仕方が行政単独でやるよりも多様な主体の方と協力しながらやるということで、広がりがもっと大きくなるということである。また、企画しているのは、小学校や子どもたちにも CIG というのは貴重な広がりを見せる財産だと思っているので、小学校に出前講座に行くとか、そういうものも協力してやっていければと思っている。今までの部会でなかなか動けなかったところを、委託業者の方と協力して、より具体的な行動ができるのではないかと考えている。

## 委員

発信や教育への波及というのは大事だと思う。そのベースとして、いろいろな団体をつなげる中間支援的な場づくりが大事だと思うので、その強化につながると思った。

## 事務局

DX については、基本的には先ほど説明したとおり、まずはオープンデータ化というところから、今まで整理できていなかった部分を整理していくところから、それを使って情報発信していくとか、維持管理に DX を導入するというところも、その足掛かりにするというところから、まずはスタートするようなイメージである。後期が始まって、どうオープンデータを活用してみどりの維持管理に活用していくかということも、後期の段階で推進会議においても検討させていただきたい。

## 委員

「データがない問題」が、出てくると思う。データ化自体も DX の中に含まれるとよいと思う。

## 委員

感想だが、「江東区みどりの基本計画」は冊子になり、写真もふんだんに使っていて、見ても楽しくなり、足を運びたくなるような内容になっていてよいと思った。今後、区民の方に広めていく機会があると思うので、特に今の人たちは文字を読まなかったりするので、写真や動画といった素材も活用していただきながら訴えていくと、より巻き込むことができると思った。基本方針の部分に写真をふんだんに使っており、訴えることがすごくあると感じた。

## 委員

DX 化という話が出ていて、見える化ということであるが、区民目線で行くと、例えば江東区のみどり専用のアプリがあって、そこを開くと緑被率等がその時点で何%ということが出ていて、現状を知ることができるものであるとよい。私も久しく厚みのある冊子を読ん

だことがないぐらい、今はほとんど小学校の PTA のお知らせや学校のお知らせもプリントではなく、アプリで配信される時代である。アプリにすべてまとめられているとよい。先週も住宅で木の伐採をしていたが、その木をどうするかというときに、その情報がすぐ得られるようなアプリがあるとよい。

## 委員

とても立派な計画だと思う。私も知らない情報がたくさんあった。北砂に住んでいる友人は、街路樹がいつも切られてしまい、なぜ伸ばさないようにするのか疑問を持っていた。亀戸駅前美容院をやっている方が、美容院の前にツバキの木があったのに、ある日突然伐採された。小鳥がたくさん来ていたのに悲しいと言っていた。CIG で色々ないいことをやっても、全然知らない。これを読むと、みどり百景とあるので、私もみどり百景を知りたいと思う。こういうものを区報で 1 番から 100 番まで 1 つずつ知らせていくとか、写真とか、そういう形でやっていくとよいのではないか。街路樹はとても大事だと思うが、南砂の高齢者医療センターに行く途中に立派な街路樹がある。北砂 5 丁目団地の街路樹とみどりだと思うのだが、目で見るとみどりはとても大事だと思う。江東区では「ことみせ」の冊子等、区役所とか出張所に置いて、私もこれをよく読んでいる。他の行政の話だが、「みちまちみどり」という冊子がある。非常にわかりやすい形で目に触れるみどりに関してアピールしている。ここにはいろいろわかりやすく書いてあるが、「みどりの基本計画 2019、中間まとめを作成しました」という内容が載っていた。これは非常にわかりやすく、住民に知らせている。江東区もみどりに特化した冊子を「ことみせ」とか、そういうところに一緒に置いて、これを区民が手に取って、実際に見てみて、関心を持つと、みどりに対する理解もやさしさも出てくるのではないか。うちの団地ではみどりは邪魔者扱いである。落ち葉が大変、倒れたら危ない、虫が来る、お金がかかるということで、もちろん大事にしている人もいるが、そうでない人も多々いる。みどりへの理解を深めていただくようなことをお願いしたい。もちろん評価している。ただ、もったいない。後期は情報発信がテーマになっていると思う。発信をお願いしたい。

## 委員長

昨日、別の会議で、デジタル化もあるが、それをできない人、区報を読まない人をどうするか。チラシしかない。ポスターとか。そういう人は結構いらっしゃることが話題になった。

## 委員

この会議に出席し、全体的に少し厳しい話をさせてもらった。みどりが増えるということは、区にとっても、まちにとっても必要だと改めて考えている。情報発信がテーマになっているということであれば、今皆さんにどういう形でどう伝えていくかということが大事

だと思う。町会の立場で言えば、町会 238 団体と何かの協力ができるとよい。

もう 1 つは自治会、会員がかなり多くいるので、その辺のところに発信していくことも 1 つ大事である。江東区には町会自治会連合会が 8 団体ある。そこでも討議できれば良いと思う。特にまちづくりを我々も町会としてやっているの、まちづくりにもみどりはものすごく大切であると考えている。運河 1 つ見ただけでも全くみどりが無い状況が続いている。水辺の話をよくされるが、その水辺をどのようにしてみどり化するかということが、まちとしては大きな課題になっている。その辺のところを後押しできるものになっていくとよい。

#### 委員

先ほど学校での出前授業の話があったので、ぜひやっていただきたい。学校でも「総合の時間」で環境やみどりを調べているが、調べているだけで、実感しないものが多いので、もしやるのであれば、活動を含めた具体的に感じられるものを、ぜひ出前授業でやっていただきたい。校長会に宣伝に来ていただければ、広めることも可能である。そういう形でやっていただけると嬉しい。そうすると子どもたちも環境やみどりに興味を持ってくれるのではないかな。なかなか興味を持たない子が多い。ぜひやっていただきたい。

#### 委員

委員からも話があったが、みどりの伐採は非常に多く、まちなかでも出てくる。それをルール化というのは難しいのだが、少しでも残していく方策を考えていかなければいけないと痛感している。特に委員がお住まいの団地は区長も含めて私も見てきた。話を聞くと致し方ない部分もあったと感じたが、伐採した樹木をベンチに使っていた。それは素晴らしい取り組みだと思う。第一は伐採しないようなまちづくり、もしくは緑化、みどりづくりはこれからも続けていかなければいけないと痛感しているところである。基本計画の中にもそういうことがうたわれているので、実務的に実行していきたい。これからもご協力をよろしくお願いしたい。

#### 委員

見ていただいて感謝する。確かに管理者側から見れば、倒れたときに危ないという安全第一ということで伐採するが、樹木医からは「伐採する必要はない、剪定で OK」という診断が出ている。危ないということは、責任を取り切れないとか、そういうことを言われてしまうと、住民としては仕方がないとなってしまう。そういうところは行政がちゃんと理由や、指導をする。樹木医は剪定でよいと言っているのを切ったのだから、私は納得できないところが残っている。

## 委員長

その問題は江東区でいろいろと起こっているが、行政もそのあたりの判断は慎重にしていただきたい。あとは説明である。周辺住民の方を中心にどうして伐採するのか、枝を切るのか、その代わりに若い木を植えるという、一連のことをきちんと説明すれば大騒ぎにはならないと思う。日野のイチョウの木は、少し前に目視で調査したにもかかわらず、ぎんなんがなりすぎて、枝が折れて人が亡くなった。目視では難しい一方で、すべての木を調べることは大変である。その辺は今後の1つの課題だと思う。所管のところでもよく検討いただきたい。

## 委員

改定委員会は3回目ということで、いろいろなご意見を頂戴して、何とか案としてまとめることができたこと、感謝する。

今回いろいろなご意見を頂戴した中で、部会については、課題として43ページに記述している。当初は部会の位置づけが全くなく、実際に推進会議を始めた中で部会をつくって進めてきた。当初計画には一切部会のことは書いていなかったが、実際に令和2年から5年までの前期においてはそういう活動をしていたので、記述についてはご指摘のとおり加えたほうがよい。今回グリーンコミュニティ会議ということで、行政、区民、活動団体、事業者が、今後より強固に活動を進めていくためにということで予算化してもらった。グリーンコミュニティ会議に移行するような形で、取り組みをさらに推進できるのではと考えている。まず現行の状況、それからさらに発展された形でのグリーンコミュニティ会議の推進、そういったものをうまく表現したい。委員長とも相談の上、記述を加えたい。

DXについては、役所の土木部門は紙ベース、アナログである。ようやく「DXの推進」ということで、今回予算化して、道路や公園、街路樹、街路灯などのデータを地図上に載せ、データ化を進めていく。それをさらにオープンにしていくということで進めていくが、まだ始まったばかりである。今後データを揃えた上で、どういう形でそれが活用できるのか。今後の推進会議の中でもDXをどのように推進していくのかについては、委員のご意見を聞きながら、よりよい方法でやりたい。今の時点で予算化していないものは書くことができない部分もある。今後いろいろな意見をいただいて、更なるDXが推進できるよう考えていきたい。

## 委員

政策経営部では、長期計画後期という区の基本的な5年間の区政の羅針盤と言われる総合計画を作っている。この計画の中では、子育て、教育、まちづくり、防災、生活衛生、いろいろあるわけであるが、これらをつなぐベースとして2つ新しい視点を入れている。1つはDXである。これについては、維持管理もそうであるが、業務の効率化、あるいは住民サービス向上、情報発信、いろいろなところに関わってくるので、今回の予算編成の中

でもかなり優先的に力を入れてやっている。そうした意味では、みどりの基本計画に関わる場所では、維持管理の効率化、あるいは情報提供に資するような予算も、今後計画的に計上していくことになると思う。今年度も一部反映させている。みどりの基本計画の進行管理の中で、いろいろな取り組みが、より具体的になっていくと思うので、引き続き委員の皆様には積極的なご意見を頂戴したい。

もう 1 つの新しい視点として取り入れるのはシティプロモーションである。シティプロモーションとしては、例えば区長のタウンミーティングをやると江東区の魅力はみどりや水辺という意見がものすごく多い。区民の方からの意見である。こうした強みを内外に強く発信していくということを区としては考えている。「みどり百景」という新たな取り組みの話もあったが、こうした部分をシティプロモーションと組み合わせることでより内外に積極的に発信していきたい。シティプロモーションは区外の方に向けて発信するだけでなく、区民にも改めて、江東区の魅力を発信し、江東区に対して誇りを持っていただきたい。その 1 つが水辺とみどりだと思っている。そうしたことも予算化を通じて取り組んでいきたいと思っている。この点についても皆様からさまざまなご意見を頂戴したい。

#### 委員長

副委員長に総括いただきたい。

#### 副委員長

「TSUNAG」の認証については、3月に認定1号が出る運びになっている。自然共生サイトが書いてあるが、「TSUNAG」も入れられるところは入れてほしい。

98 ページ、みどりの調査結果の公表となっているが、ここの調査はこの計画の目標とリンクしていると思っている。みどりの調査とは何かということ、緑被率や緑視率だけでなく、この計画の進捗を見る重要なモニタリングのデータになると思うので、みどりの調査の中に区民からの意見を取り込んでいくことやみどりの調査は目標とリンクしているという記載が大事である。調査をやるのが目的ではない。その辺のニュアンスが入るとよい。部会については、4年ほど前にこの推進会議を立ち上げたときに、多分私が提案したというか、そういうものがあるということで、ほかの自治体を紹介させていただいたものである。それが予算的な裏づけと、みどりの基本計画の中での位置づけを得て、会議としてきちんと位置づけられたということに関しては感謝する。重要なことだと思う。部会は位置づけがない中でよくやっていただけた。これは行政サイドもそうだし、部会を回していらっしゃる方も月一で回していた。それがきちんと位置づけられて、今までの経緯を踏まえながら、より発展して素晴らしい展開になるように反映されたというのはとても評価できることだと思っている。江東区の場合は、ローカルなコミュニティもあるし、市民活動が盛んだし、企業も参加しており、部会のメンバーも多種多様で、実験的なこと、自発的なことをやられている。行政には苦情は多分たくさん耳に入ってくると思うが、前向きにクリエイ

イティブにこういうことをやったらどうかというのはなかなか入ってこない。それを実際に実現していくというのはなかなか難しいことだと思うが、このグリーンコミュニティ会議がそういう役割を担ってくれるとよいと思う。

また、公園マスタープランにこれから取り組まれるということ、これは大事なことだと思う。みどり百景も重要なことだと思う。今日も午前中、委員長と一緒に別のところで公園をどうするかという話をしてしたが、これからは生かしていくということが大事である。

最後に、委員がまちづくりをつなぐ中に DX とシティプロモーションだとおっしゃったが、みどりもそうである。例えば高齢者とみどりや、子育てともつながることができる。生き物や環境の人ともつながれる。みどりのリサイクルで廃棄物ともつながれる。観光やスポーツ振興、コミュニティ、都市計画、防災、いろいろなところとつながる。みどり好きな人たち、みどりを愛している人たちの中ではなくて、外に手をつなぐ人はいっぱいいるし、行政的にもいろいろな部局と手をつなげると思うので、そこを頑張っていただきたい。

### 委員長

みどりの基本計画で言えば、昨年の法改正があって、今後、国の方針として広域な緑地計画、マクロは東京都があって、基礎自治体という順番になっているのが通常である。副委員長が理事をされていて、私も副会長をしている日本公園緑地協会が中心になって「改定の手引き」がこれから出る。幸いに副委員長も私もその辺を見込んで、できるだけ法改正に沿ったところを申し上げてきていると思うので、そんなに相違はないと思う。

後期計画が順調に行けば、一般的に 5 年目は全編改正というような段取りになると思う。これは区の諸々の情勢の中で動いている。多分皆さんにはその辺を含んで今後おつき合いただくようになると思う。

昨年の 8 月に第 1 回委員会を開催してから、今回が第 3 回。いろいろご意見をいただき、お褒めいただいた計画を作成することができた。委員の皆様のおかげである。改めて御礼申し上げる。この計画案は、事務局で最終調整を行い、区長に提出されるという段取りになる。恐縮だが、修正については小職にご一任いただけるか。私と副委員長に最終チェックをご一任いただくようよろしくお願いする。今年の 3 月末までに製本する予定にしている。製本された際には事務局から計画書を委員へ郵送していただきたい。重ねて、委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

### 委員

最後に要望だが、冊子はホームページに載ると思うが、ホームページに載せるときに、後期の改定で何が違って、来年度以降はこういうことができるという簡単な説明を 1 枚加えていただきたい。区民がホームページを見ても冊子は読まない。改定してこういうことが変わったというのを見て、興味を持ったら冊子を見るという形になると思う。今回の改定で何がどう変わったということを簡単にまとめていただき、ホームページに掲載してい

ただきたい。

#### 委員長

貴重なご指摘である。事務局で検討いただきたい。

#### 委員

我々は CIG の活動をしているが、ニュースレターをお持ちし、机上配付させていただいたので、皆さんに読んでいただきたい。

#### 委員長

ぜひお読みいただき、周囲の皆様に宣伝していただきたい。

議題（1）は以上とさせていただきます。

### 議題（2）その他

#### 委員長

議題（2）その他について、皆様から何かあるか。

よろしいか。では、事務局からその他について願います。

#### 事務局

机上に意見書を配布している。本日お伺いできなかった意見、質問があれば記入いただき、2月5日(水)まで事務局にご提出いただきたい。今年度1年を通して3回の委員会へ出席、また貴重なご意見をいただき、委員長をはじめ、各委員には感謝申し上げます。

報告した計画案については事務局で最終調整を行い、区議会の所管委員会に報告後、ホームページで公表するとともに、製本した計画書は委員の皆様へ郵送させていただく予定である。また、来年においても引き続き江東区みどりの基本計画推進会議がある。これにご出席いただくようよろしくお願いする。開催日程等は改めてご連絡させていただく。

事務局からは以上である。

#### 委員長

何か質問はあるか。よろしいか。

推進会議については、開催日程が決まったら皆さんにぜひご連絡いただきたい。

### 閉会

#### 委員長

以上で本委員会を終了する。ありがとうございました。

以上